

推薦者：伊東豊雄 遠藤謙一良 小田義彦 坂田 泉 篠崎 淳 千葉 学 所千夏（敬称略）

入会時に何度も読み返した「建築家憲章」は今も座右の銘となっています。建築家の社会的役割が急速に拡大・変化する現代において、JIA が果たすべき使命と責任は、その根本は変わらなくとも、より幅をもったものへの再定義が必要な時期に差しかかっているかもしれません。それにより会員一人ひとりが誇りをもち、将来の建築界を担う若手にとって希望を持てる組織を築き上げたいと思います。

1. 建築家の社会的地位向上と JIA の存在意義

- 建築家は単なる設計者ではなく、地域社会や環境、文化の創造者です。建築家の専門性と社会的価値を広く発信し、建築家の社会的地位を高めていくため、市民及び国や自治体、企業と様々な場面での情報共有、対話、議論などを積極的に進めてまいります。特にハードとしての建築の計画のみならず、市民に寄り添った、まちづくりの企画段階での専門家協力や専門知識を活かした活動など、さまざまな場面での社会的活動の価値が認められるよう働きかけをしてまいります。

2. 持続可能な建築と地域づくりの推進

- 気候変動や人口減少、高齢化社会など、私たちを取り巻く課題はより複雑化しています。特に私の専門分野でもある、サステナブル、さらにはリジェネラティブ（再生）建築や、地域資源を活かしたまちづくりの推進に注力します。海外団体（UIA、AIA、アルカシア等）との国際活動も建築家の共通課題の議論深化の視点で捉えます。

- 具体的には気候変動に対する建築家の役割を発信し、JIA 内での議論を活性化させると同時に、現在国交省で検討されている「建築分野における中長期ビジョン」や「LCA (LCCO2 評価)」に対する議論を深めるため、新たな委員会の設置なども検討します。

3. 新資格制度・業務範囲・DX 推進

- 新資格制度に関しては、経緯を尊重しつつ、丁寧な議論を重ねます。また、DX の推進に伴い建築生産プロセス全体における建築家（建築士）の業務範囲と報酬体系を再構築し、建築家の職能の持続可能性の向上に取り組みます。

4. 多様性・公平性・包摂性のある JIA 組織運営

- 若手や女性建築家を含めて多様な才能が活躍できる環境整備を進めます。活動方法や会議時間の見直し、ヒアリングによる改善策の検討を行います。

- 委員会や会議体の活動を公開し、本部、支部、地域会の関係が透明で風通しの良いものとなるよう、昨年からの運用の始まった JIAnet も活用し、全国どこからでも参加しやすい組織運営を実現します。



Photo Ryo Hata

南葉山の家 建築学会作品選集掲載 2006/OM 地域建築賞優秀賞 2007/ 日本経済新聞「小さな家」掲載 2025

建築の未来を拓く、新しい JIA のかたち



組織は生き物のように、常に新しい要素を取り込み、代謝しながら育っていくもの。全国単一組織、海外との連携団体という強みを生かし、偉大な先輩たちが築いた礎の上に、社会への発信力のある、活力にあふれ、誰にとってもワクワクする JIA を皆さんと一緒に作り上げたいと思います。

日本建築家協会 会長候補 林 美樹



葉山一色の家 Photo Seichi Maeda



武蔵野草屋根の家 Photo Ryo Hata



JIA 杉並地域会 歴代代表と土曜学校校長の座談会 2024

日本建築家協会 会長候補
林 美樹 プロフィール

1959 年 東京生まれ
建築実務・教育に関わる両親の下で育ち、いつの間にか建築の世界へ。
現在は設計実務、学生指導以外に、国や行政等の委員会活動が増え、
社会との関わりの中で、いかに建築家の力を発信すべきかが課題。

社会における活動歴

- ・国土交通省社会資本整備審議会建築分科会環境部会専門委員（2020 年～）
- ・国土交通省中央建設工事紛争審査会特別委員（2025 年 10 月～）
- ・東京都建築紛争調停委員会委員（2024 年～）
- ・東京都多摩産材コンクール審査委員（2021 年～）
- ・杉並区景観審議会委員（2019 年～2023 年）
- ・杉並建築会代表（建築士事務所協会・建築士会・JIA で構成）（2025 年～）
- ・杉並第一小学校設計者選定委員（2024 年）
- ・（公社）日本建築家協会理事（2019 年～2023 年）/ 杉並地域会代表（2014 年～2018 年）
住宅等連携会議議長（2025 年～）
- ・（公社）日本建築士会連合会 環境部会委員（2020 年～）

学歴

- 1979 年 3 月 東京都立富士高等学校卒業
- 1975 年～1976 年 Athens High School (オハイオ州立アセンス高校) 留学
- 1983 年 3 月 武蔵野美術大学造形学部建築学科卒業（坂本一成研究室）
- 1985 年 3 月 同 大学院造形研究科デザイン専攻建築コース修了 芸術学修士
- 1992 年～1994 年 Istituto Universitario di Architettura di Venezia
（国立ヴェネチア建築大学）留学
建築史（マンフレッド・タフーリ）・建築計画（フランチェスコ・ヴェネチア）etc.
- 1994 年 9 月 Centro Internazionale di Studi di Architettura Andrea Palladio
（アンドレア・パラディオ国際建築研究センター） パラディオ建築コース修了

職歴

- 1985 年～1996 年 株式会社日本設計勤務
- 1996 年～現在 一級建築士事務所株式会社 Studio PRANA 主宰

教職歴

- 1999 年～2007 年 武蔵野美術大学建築学科非常勤講師
- 2015 年～2019 年 前橋工科大学非常勤講師
- 2023 年～現在 同上
- 2022 年～2024 年 日本大学生物資源科学部非常勤講師「環境建築学」
- その他、家政学院大学、東京造形大学にて非常勤講師、特別講師など務める

所属団体

- （公社）日本建築家協会 正会員・登録建築家 / （一社）東京建築士会 正会員
- （一社）日本建築学会 正会員 / （一社）住宅医協会 認定住宅医
- （NPO 法人）日本 IP 協会認定ファイナンシャルプランナー / （一社）職人がつくる木の家ネット会員

JIA 会員からの応援
メッセージ

坂田 泉 JIA 国際委員会委員長 OSA ジャパン
私が林さんに期待するのは大きな樹のような JIA をつくることだ。社会という大地に根づき、それぞれの建築家がそれぞれの位置でそれぞれのカタチで働く集団。間違っても、誰かを頂点とするピラミッドではない。林さんの杉並地域会での働きぶりを見て、大きな樹の一枚の葉として、各地の会員と気持ちを通わせながら新しい JIA をつくれる人だと思った。

宇野 求 JIA 新宿地域会 元東京理科大学教授
林美樹さんは、「社会との関係の再構築」を最優先に、建築家の役割と価値を社会に伝え、評価される JIA を目指しています。市民・行政・企業・国際団体との対話と発信を軸に、JIANet を活用した透明な運営と政策形成への関与を通じ、公益法人としての社会貢献を強化しようとしています。JIA 地域会を通じた各会員による地域貢献活動に期待しています。

黒木正郎 JIA 新資格制度特別委員会委員
東京建築士会副会長
建築界に大変革の波が押し寄せるまさにいま、林美樹さんが JIA 会長選に立ってくださったことは心強い限りです。穏やかな語り口で、打ち解けた対話の達人である林さんは、多様な意見を持つ会員をまとめ、他会や当局あるいは近接業界との協調をみちびき、いかにも自然なしぐさで建築家の新しい役割を開いてくれるものと期待しています。

小川 真樹 JIA 建築・まちづくり委員会委員
小川真樹建築総合計画
林さんの言葉には重みがある。それは、海外や組織とアトリエ両方で活動した経験による広い見識と、社会に対する深い洞察力による重さだ。JIA は個性豊かな会員の集まりだ。であればこそ会長には個性や作家性以上に必要なものがあるだろう。建築家の在り方が変容する今、次世代を含めた多様な感性を受け止め社会に発信しうる会長像を私は彼女に見いだす。

所千夏 JIA 業務委員会委員 国交省社整審専門委員
アトリエ CK
地域に根ざした活動をしながら木の住まいを創造する林さんは、JIA 本部理事や国交省専門委員としても活躍し、ミクロとマクロの視点をバランスよく持つ方です。JIA と建築家の職能を深く理解し、地域から国そして世界へと、幅広い視点と持ち前の発信力で、信頼される JIA ・期待される建築家の実現に、会長として力を発揮してくれると思います。

千葉 学 西尾市生涯学習センターコンベ審査委員長
東京大学大学院教授 千葉学建築計画事務所
JIA は、会員であることが誇りであり、活動が社会の力となり、ネットワークが世界の建築界をリードするような組織であって欲しいと願っています。大手組織事務所、自らの個人事務所、海外留学、教職など、様々な立場を経験しながらも、JIA 地域会の活動を通じて地元に貢献し、地域から世界へと持続可能な建築について数多くのメッセージを発信している林美樹さんなら、そんな JIA を力強く牽引してくれると確信しています。

藤澤 進 藤澤進建築研究所 前久米設計代表取締役社長
JIA のような様々な活動を行っている組織のトップ（会長）は、対外的なことと対内的なこと両方を行わなければならない。対内的には、様々な活動に目を配ることのできる“視野の広さ”と、それらが順調に行われていくように気を配ることができる“バランス感覚”の二つが求められると思う。そして対外的にはその組織の「顔」として、“人間力”と“見識の広さ”が求められる。今までの経験やお人柄から、林さんにはそれがあると確信している。

寺尾信子 JIA 環境委員会委員 寺尾三上建築事務所
林美樹さんは、建築家として環境配慮の姿勢を明確にし、地元の木や自然素材による住宅作品では多くの受賞歴を有し、設計実務に一貫した姿勢で臨んでおられます。活動面では JIA 理事、国の委員会専門委員他、特に JIA 杉並地域会では代表時代から地域と建築家のより良い関係づくりを追及されています。JIA 新時代に期待をこめてここに推薦いたします。

上垣内伸一 ウエガイト建築設計事務所
いま JIA に必要なのは、強いリーダーシップではなく、内在する様々な対立軸を多様性として乳化する包容力と、その会員ひとりひとりが持つ多様な力を社会に還元できる実行力だと思う。いくつもの立場や環境を経験し理解している林さんこそ、今の時代に相応しい JIA の姿を指し示すことのできる方です。

篠 節子 JIA 環境委員会委員 篠計画工房
私は林美樹さんと JIA のほか、その他の建築団体等で活動を共にしています。林さんは国土交通省の社会資本整備審議会の委員として、「誰一人取り残さない社会」の実現に向けた提言を行っており、JIA 会長の任を得た場合にも会員の意見を広く取り上げ、JIA のさらなる発展に尽すと確信しています。JIA 会長としてとして最も相応しい方です。